

# 安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

## 〔令和元年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター等 25団体の表彰〕

令和元年度全シ協定時総会（6月20日）において、令和元年度「安全就業優秀・優良シルバー人材センター」の表彰式がありました。受賞されました皆様、おめでとうございます。

（優秀賞）4センター

- 新潟県 南魚沼
- 石川県 金沢市
- 福井県 高浜町
- 長野県 塩尻地域



(優良賞) 18センター

- |           |              |           |          |
|-----------|--------------|-----------|----------|
| ○宮城県 利府町  | ○茨城県 かすみがうら市 | ○群馬県 太田市  | ○埼玉県 深谷市 |
| ○新潟県 燕市   | ○富山県 入善町     | ○石川県 野々市市 | ○石川県 小松市 |
| ○福井県 永平寺町 | ○三重県 津市      | ○大阪府 岸和田市 | ○大阪府 高石市 |
| ○島根県 益田市  | ○徳島県 松茂町     | ○高知県 嶺北   | ○福岡県 築上町 |
| ○熊本県 上天草市 | ○鹿児島県 徳之島町   |           |          |



(優秀連合賞) 1連合 ○鳥取県

(優良連合賞) 2連合 ○福井県 ○岡山県



## 安全就業シルバー人材センター優秀賞を受賞して

今月号は令和元年度全シ協定時総会（6月20日）において安全就業シルバー人材センター優秀賞を受賞された南魚沼シルバー人材センター、金沢市シルバー人材センター、高浜町シルバー人材センター、塩尻地域からの報告を掲載します。

### 公益社団法人 南魚沼シルバー人材センター

当センターは、新潟県南部の魚沼盆地に位置し、絶品のお米コシヒカリを育む山や川に囲まれ、またウインタースポーツを中心とした観光産業が盛んな南魚沼市と湯沢町の1市1町で構成しています。前身の高齢者事業団として昭和57年に設立され、昭和62年に広域のシルバー人材センターとして再スタートし、平成24年に公益社団法人に移行して現在に至っています。

平成30年度末の会員数は884名で、契約金額は3億3,600万円（内、派遣事業9,300万円）となっています。平成30年度は女性会員の入会者が増加したことが特筆されます。

さて、安全・適正就業の推進については、16名（理事8名、会員8名）の委員からなる業務・安全対策委員会を中心にして、「安全はすべてに優先する」を合言葉に安全パトロールや安全就業講習会を開催するなど、事故発生ゼロを目指して取り組みを進めています。

日本有数の豪雪地帯であるこの地域は、庭木などを雪害から守るための「雪囲い」作業の依頼が秋口から多く寄せられ、また雪解けの春にはその囲いを外す作業が多くなります。規模が大きい、またはあまりに高所作業となる作業はお断りしているのですが、それでも天候等によっては足場が悪くなったり、材料が滑りやすくなったりで苦勞して作業することになり、事故発生割合からすると、この「雪囲い」作業中の事故が多くなっています。日々の対策としては班長さんを中心とした作業前ミーティングの励行、安全対策会議や会員懇談会などを通じたヒヤリハット事例の共有化などを通じて安全就業の徹底を図っています。

また、昨今のニュース等で大々的に取り上げられている高齢者の安全運転に関しては、運転業務に携わる全会員に年一回の安全運転講習を義務付けるなど最重要課題として取り組んでいます。

当センターのここ5年ほどの事故件数は、年平均5件で横ばいとなっています。幸いにも重篤な事故には至っていませんが、事故発生ゼロの目標には届かない状況となっています。今回の安全就業優秀賞受賞を励みに、さらに会員・役職員一体となって安全就業に努めて参ります。



《常務理事兼事務局長 白井 健治 記》

# 公益社団法人 金沢市シルバー人材センター

## 1. 金沢市シルバー人材センターの概要

当センターの平成 30 年度受託事業実績は、会員数 2,003 人（入会率 1.4%）、就業実人員 1,203 人、就業率 60.1%、就業延人員 111,362 人日、受託件数 11,016 件、契約金額 543,579,032 円となっています。労働者派遣事業では、契約金額 249,459,404 円、すべての事業の就業率を合計しますと、82.7% になります。

## 2. 安全就業の取組

会員 5 名、外部 2 名、職員 3 名からなる安全部、13 地区の代表 13 名からなる地区安全員を設置しており、年 4 回の会議を開催し、安全就業対策を効果的かつ着実に実施し、センター会員の安全意識の高揚のための啓発活動を行っています。平成 30 年度の事故発生状況は、傷害事故 6 件、賠償事故 2 件の計 8 件で、平成 29 年度より 4 件減少しました。

### ○ペナルティー制度導入の検討結果

事故多発を受け全国的に取り組まれているペナルティー制度について、平成 29 年度 1 年間をかけて検討しましたが、シルバー事業の概念から導入は見送り、作業別安全基準に除草（手むしり）部門を追加、安全部員に剪定・手むしり作業の会員を加える、賠償事故の場合は事故報告書を提出させることとし、これまでの就業先安全パトロールに加え、毎月第 2 と第 4 木曜日を剪定・除草作業現場安全パトロール（安全基準遵守）の日と定め部員 2 人 1 組で実施することとしました。平成 30 年度は計 31 回の安全パトロールを実施しました。

### ○安全講習会の実施（安心して就業できるための独自の講習会）

運転業務の安全対策として、運転業務従事会員を対象に警察と協力して高齢者ドライビングコンテストに参加する他、運転免許センターに出向き 40 名が安全運転講習会を実施しました。また、機械除草・植木剪定作業の安全対策として、KY 活動の研修会、就業する場合は刈払機、搭乗式草刈機、チェーンソー講習会の受講を義務づけしました。その他、冬の交通安全、健康スポーツ講習を実施しました。

### ○安全標語の募集

会員から安全標語を募集、優秀作品を選出表彰し、安全就業に関するアイデアと共に広報誌「金木屋」に掲載し、安全就業を喚起しています。

### ○安全用具の使用奨励と点検整備の徹底

安全防具や用具類の着用ならびに使用や安全作業告知板を活用しての周囲への周知などを徹底しました。

### ○今回の表彰を受け、今後も更なる安全就業の徹底を図り、第 4 次中期計画の目標値でもあります事故ゼロを目指して取り組んでまいります。



《事務局次長 橋田 剛 記》

## 公益社団法人 高浜町シルバー人材センター

当センターのある高浜町は、福井県の最西端に位置し、青葉山を境にして隣は京都府舞鶴市で、日本海に面し、本町の美しい海は 2016 年に世界有数の環境認証であるブルーフラッグ認証をアジアで初めて受けた風光明媚な約 1 万人の町であります。

以前は、海水浴でにぎわった頃もありましたが、観光は衰退し、現在の産業としては、関西電力の原子力発電所が 4 基あり、それに伴う事業が主であります。

当センターは、平成 18 年にスタートし、まだ 13 年の歴史であります。平成 30 年度末の会員数は 263 名、受託件数 1, 740 件、受注実績は約 105, 370 千円、就業率 92.8% となっています。

平成 18 年の発足以来、安全委員会（理事 3 名、地域班会員 4 名、職員 1 名）を中心に、毎年事故 0 を目指して活動してきました。5 年目の平成 23 年には安全就業優良賞を全国シルバー人材センター事業協会から受賞しました。平成 27 年 3 月に転倒事故がありましたが、その後は現在まで無事故での就業を続けています。どこのセンターとも何ら変わらないと思いますが、毎年次のような安全対策目標を掲げ達成を目指しています。

1. 数値目標 重篤、入院、通院、賠償事故 0 件
2. 安全・適正就業指針の遵守
3. 業務担当職員が毎日現場確認
4. 安全・適正就業推進強化月間の設定
5. 年 4 回の安全・適正就業委員会の開催
6. 安全・適正就業スローガンの活用
7. 年 1 回安全講習会の実施（対象会員は必ず受講）
8. 年 1 回以上の健康診断の受診の推奨と健康調査票による自己診断の実施
9. 役員による月 1 回以上の現場パトロールの実施

今回の受賞を励みに、今後も会員、役職員がなお一層安全就業の徹底を図り、「事故 0」を続けていきたいと思ひます。

《事務局長 奥野 金弘 記》



## 公益社団法人 塩尻地域シルバー人材センター

この地域は、松本盆地の南端、長野県のほぼ中央に位置し、北アルプスや中央アルプスの山並みを背景に、レタスを中心とする野菜やブドウを中心とする果樹の生産団地が形成された田園風景が広がる、清浄な水と緑に囲まれた地域です。

当センターは、塩尻市、東筑摩郡朝日村の1市1村で構成されており、昭和59年7月、長野市、松本市に次いで長野県下3番目に「シルバー人材センター塩尻市能力活用事業団」として発足しました。以来、平成12年に朝日村が加わって現名称となり、本年、設立35周年を迎えます。

平成30年度末の会員数は687名、受注実績は約3億1,544万円、派遣事業は約6,295万円となっていますが、会員数、受注額はここ数年減少傾向にあり、特に会員の確保・拡大は当センターとしても喫緊の課題であります。

安全・適正就業の推進については、当センターでは「安全就業対策委員会」を組織し、会員の安全就業を最優先課題として取り組んできています。

主な取り組みの内容としては、7月から10月にかけて安全就業対策委員による年4回の安全パトロールの実施、草刈安全講習、剪定安全講習、交通安全講習などの各種講習会や安全就業研修会への参加のほか、安全推進だより「かわら版安全・安心」を発行し、事故発生時には事故速報による事故の再発防止に向けた注意喚起、日々の健康づくりや夏季における熱中症対策の呼びかけなどを行っています。

毎年、年度当初から会員の「事故ゼロ」を目指し、県の連合会とも連携を取りながら、いわゆるKY活動に重きを置き、「危険ゼロ」を重点目標に、安全ミーティングの完全実施、安全装備使用の徹底、健康診断受診及び健康体操の奨励、さらに交通事故防止を安全就業対策推進の取り組み目標に掲げています。また、平成29年9月からは保険適用に免責額の設定もするなど、会員の意識高揚に努めてきていますが、残念ながらなかなか事故がなくなるのが現状です。

こうした中で、今回、栄えある優秀賞の受賞は、当センターとしては大変おこがましいことと恐縮しているところではありますが、これを励みとし、この機会に会員をはじめ役員や職員が基本に立ち返り、改めて会員の「事故ゼロ」を目指していきたいと思います。

《専務理事兼事務局長 中村 慶一 記》



# 令和元年度6月事故速報

## (1) 重篤事故

6月は、3件の重篤事故報告がありました。

6月までの累計で比較してみると、平成30年度の10件と比して令和元年度は6件と4件減少しています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では平成30年度の6件と比して3件と3件の減少となっており、また就業途上においては、平成30年度の4件と比して3件と1件の減少となっています。

### 6月報告分までの累計

令和元年度 6年度累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				平成30年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	3(1)	2(0)	1(1)	3(1)	0(0)	就業中	6	5	1	5	1	
就業途上	3(2)	0(0)	3(2)	3(2)	0(0)	就業途上	4	4	0	3	1	
計	6(3)	2(0)	4(3)	6(3)	0(0)	計	10	9	1	8	2	

↳ 対前年度比 0.60%

### 6月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
4	男 84 歳	就業途上 (入院)	区報を配布し終え、帰宅途中の坂道を下り終えたあたりを自転車で走行中に坂道の傾斜が急であったため、よろけて転倒した。入院後6ヶ月が経過したが現在も入院中である。	—	—	自転車
5	男 75 歳	就業途上 (入院)	就業先に向かう途上で路面電車を降りて歩いていた際、車に撥ねられて救急車に搬送された。頭部のほか、骨盤、大腿骨、膝、肩などを強打しており、手術をおこなうなど入院治療を続けているが、入院後6ヶ月が経過した現在も入院中である。	—	—	徒歩
6	男 72 歳	就業中 (入院)	松の剪定作業の場所を移動する際、固定していた道坂のロープを外し足場を組みなおしているとき、三脚の高さを合わせるための下駄が外れ不安定になった時にバランスを崩し、2mの高さから転落した。入院後6ヶ月が経過した現在も入院中である。	○	○	—

## (2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

6月は、就業中の事故14件、就業途上の事故2件と、合計16件であり、昨年度同月の35件と比して19件の減少となっている。また、男女別では、男性は10件の減少となっており、女性も5件の減少となっている。

6月までの累計で比較してみると、昨年度の80件と比して、本年度は57件と23件の減少となっている。就業中・就業途上別にみると、就業中は14件の減少となっており、就業途上も9件の減少となっている。男女別では、男性は21件の減少となっており、女性も2件の減少となっている。

### 令和元年度6月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		6月	累計	6月	累計	6月	累計	6月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	2(6)	12(22)	2(6)	12(21)	0(0)	0(1)	74	71
	除草作業	3(8)	7(12)	2(7)	3(8)	1(1)	4(4)	74	76
	屋内・屋外清掃作業	2(4)	13(8)	0(1)	4(4)	2(3)	9(4)	78	77
	その他	7(5)	13(17)	6(5)	10(11)	1(0)	3(6)	76	75
	計	14(23)	45(59)	10(19)	29(44)	4(4)	16(15)	76	75
就業途上	徒歩	0(2)	3(4)	0(2)	1(2)	0(0)	2(2)	-	79
	自転車	2(6)	7(11)	1(1)	1(2)	1(5)	6(9)	78	75
	バイク	0(4)	2(5)	0(3)	0(3)	0(1)	2(2)	-	78
	自動車	0(0)	0(1)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	-	-
	計	2(12)	12(21)	1(6)	2(8)	1(6)	10(13)	78	77
合計		16(35)	57(80)	11(25)	31(52)	5(10)	26(28)	76	75

( )は平成30年度同月、累計では同月までの発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います。

(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)



### (3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（1ヶ月以上）

今年度より、シルバー派遣事業における労働者災害報告のうち休業日数（見込）が1ヶ月（30日）以上の発生状況に関して、月次報告を掲載します。

4月は、仕事の型別では「軽作業員」及び「他に分類されない運搬・清掃・包装等の職業」がそれぞれ2件となっており、その他は8件で合計10件となっている。

男女別の内訳は、男性が8件、女性が2件となっている。

なお、死亡事故はありませんでした。

#### 令和元年度4月分

	仕事の型 (小分類)	小分類 コード	事故数 (件)		男性 (件)		女性 (件)		平均年齢 (歳)	
			4月	累計	4月	累計	4月	累計	4月	累計
就 業 中	その他の家庭生活支援 サービスの職業	359	1	1	1	1	0	0	73	73
	調理人	391	1	1	0	0	1	1	69	69
	製材工・チップ製造	561	1	1	1	1	0	0	72	72
	内装工	717	1	1	1	1	0	0	78	78
	配達員	755	1	1	1	1	0	0	68	68
	産業廃棄物収集作業員	765	1	1	1	1	0	0	79	79
	軽作業員	782	2	2	1	1	1	1	74	74
	他に分類されない運搬・ 清掃・包装等の職業	789	2	2	2	2	0	0	72	72
	計	—	10	10	8	8	2	2	73	73

※ 就業途上の事故については、上期分を令和元年12月号、1年間分を令和2年6月号で報告いたします。

「シルバー派遣事業における労働者死傷病報告等に基づく労働災害報告」については、(1)「派遣・業務災害報告」については、各月翌月最終稼働日までに、(2)「派遣・通勤災害報告」については、令和元年9月30日までの期間での発生分を令和元年10月31日までに必ず提出願います。

(平成31年4月22日付 事務局長通達により通知済)

## 編集後記

関東では例年のない梅雨寒が続き、7月中旬まで日照不足、真夏日もほとんどなしという状況でしたが、梅雨が明けた途端に猛暑がやってきます。近年、夏といえば熱中症が話題となり、今年は安全就業指導員会議でも中災防の方にご講演をいただきました。その中で、熱中症に効くというOS1を飲み過ぎると塩分過多で高血圧、ポカリスエットのようなものを飲み過ぎると糖分過多で糖尿病になる可能性があるので注意が必要という興味深い話を伺いました。『過ぎたるは及ばざるが如し』です。作業中の熱中症予防にはこまめな水分補給と塩分の摂取・適度な休憩。炎天下で作業をされるみなさんは今一度このことを思い出し、この夏、熱中症で倒れる方の出ることがないように一人ひとり意識し、声を掛け合い、暑さに強いカラダで熱中症を防ぐようにしましょう。

(松山)

関東を中心とした日照不足が続いています。気象庁によると本州の南で停滞する梅雨前線とオホーツク海高気圧から流れ込む冷たく湿った風が原因とのことで、東京都心は日照時間が短い日が続いています。また、九州でも大雨が続き、避難指示(緊急)や勧告が出るなど、土砂災害に対する警戒を呼びかけています。センター及び会員さんにおかれましても、屋外作業を行なう場合には、作業場が雨の影響でぬかるんでいないか(特に脚立を使用する場合)を十分注意してから作業を行うようにお願いします。

(笹野)

## 事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

### <頒布物のご案内> 新規会員さんへの研修に活用ください!

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

#### 事故に学ぶ交通安全のポイント「改訂版」

交通事故の死亡者は年々減少傾向にある中、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。シルバー人材センター会員の皆様においても就業途上において歩行中・自転車乗車中の事故が多く発生しています。このため、事故に注意していただき、安全な就業をしていただくため改訂版を発行しました。是非、会員の皆様に対する研修会・講習会等のテキストとして活用ください。



頒布価格 200 円 A4 判  
(税抜・送料実費)

#### 【改訂の内容】

- 1 現行のB5版/16頁からA4版/20頁とし、見やすく、分かりやすく、内容の充実を図りました。
- 2 警察庁交通局の「平成27年中の交通事故の発生状況」から、特に、高齢者の事故が多い内容や原因について注意喚起を行う事項を追加しました。
- 3 シルバー人材センターで発生した「就業途上に起きた交通事故」の状況や事故件数及びこれに伴う再発防止のポイントを「イラスト、事例」により掲載しました。  
また、ヒヤリ・ハットの事例についても、「イラスト、事例」により掲載しています。
- 4 自転車の危険運転について、道路交通法の改正が行われ、この改正内容等について、「イラスト」等により解説を行い、追加しました。

【お問い合わせ先 全シ協企画情報課 TEL 03-5665-8013】